

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防水利維持管理事業			会計	款	項	目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	高市 薫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	火災により救護等を必要とする市民	意図	消火作業に使用する消防水利を常に使用可能となる状態で維持管理し、被害の軽減を図るもの。
事業内容	消防水利のうち消火栓については、水利の状況等を調査考慮し水道局に設置及び維持管理をお願いし、それに係る経費を負担金として支出するほか、防火水槽の維持管理につとめている。			
事業開始から現在までの状況変化	消防法第20条により、消防に必要な水利は当該市町村が設置、維持し及び管理するものと規定されている。市内の「消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）」による消防水利の充足率は78%であり今後も充足率の向上に努めていきたい。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	消防水利の基準による消防水利の充足率	78	78	78	
②	火災件数	32	30	21	%	↓↓↓	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 上水道に接続して整備されている消火栓の新規設置と既存の消火栓及び防火水槽の随時修繕を実施している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総計(a=b+c)		16,364,496	13,326,953	11,378,151			
事業費(b)(円)		12,775,496	9,833,453	7,923,518			
うち一般財源		12,775,496	9,833,453	7,923,518			
職員給与費(c)(円)		3,589,000	3,493,500	3,454,633			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	老朽化した防火水槽の補修及び消火栓が不足している地域への新設。	③取り組みの課題	老朽化した防火水槽が多数あるため、修繕を必要とする物が多い。
②今年度(H26)に実施した取り組み	老朽化した防火水槽の補修に取り組んだ。	④今後の改善計画	防火水槽の損傷程度を考慮しつつ、優先順位を決めて修繕を行う。